

ストップ『いじめ』

～ しない させない ぜったい許さない！ ～

【 保護者用リーフレット 】

『いじめの定義』(文部科学省)

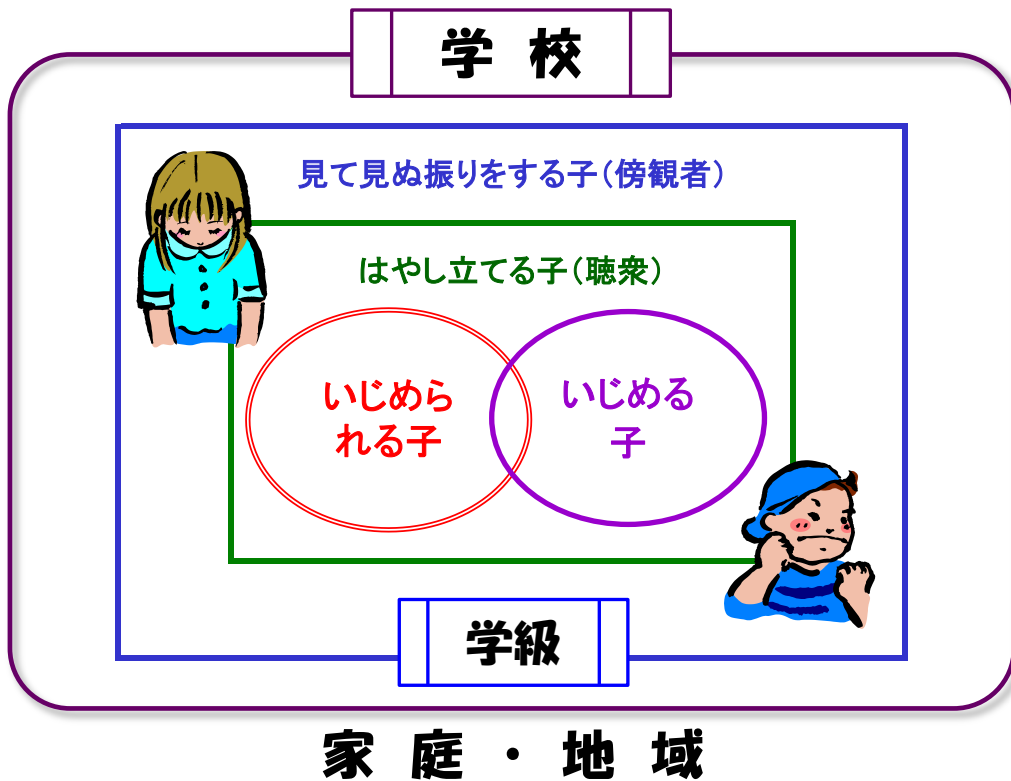
●個々の行為が『いじめ』に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立って行うものとする。

●「いじめ」とは、「当該児童生徒が、一定の人間関係のあるものから、心理的、物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの。」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

家庭と学校、地域等が力を合わせて早期発見・早期対応を！
～ 子どもたちの笑顔のために！ ～

笠岡市教育委員会

「いじめ」の構造



いじめについては、どの子にも、どの学級、どの学校においても起こり得るものであるという認識のもとに適切に対応することが大切です。いじめられている子の立場に立って、毅然と対応するとともに、いじめる子、それを周りではやし立てる子、見て見ぬ振りをする子などへの指導が必要です。

いじめの早期発見・早期対応には 家庭と学校の協力が欠かせません！

いじめは、人権に関わる重要な問題であり、子どもたちの健全な成長にとって見過ごせない影響を及ぼします。その上、いじめは見えにくく、深刻な状況に至るまで周囲の者が気づかない事態も起こってきます。

しかし、いじめの発見には、本人による訴え以外に、教職員や保護者が発見するケースが多く、家庭と学校の協力が欠かせません。家庭と学校、地域、関係機関が連携を図り、いじめ問題の早期発見・早期対応に取り組まなければなりません。

【基本的な立場】

- ①いじめは、人間として絶対に許されない行為である
- ②いじめられている子を必ず守る
- ③いじめられる側だけでなく、いじめる側の視点も重要である
- ④家庭や学校、地域社会、すべての大人がそれぞれの役割を果たし、一体となって真剣に取り組む



最近の「いじめ」は・・・

現在のいじめは、陰湿化、長期化していると言われます。

集団化

特定の子を集団で無視したり、話しかけても相手にしなかったりする。

ゲーム化・陰湿化・長期化

ふとしたことや遊び等からいじめが始まったり、指導されても何度も何度も繰り返し行われたりするなど、ゲーム化、陰湿化、長期化するケースが増えている。

ネット化

インターネット上で悪口を書き込まれたり、悪意のある画像を掲載されたりする。

連続化

いじめの対象がころころ変わり、いつ自分がいじめられるかわからない。



「おやっ？」と思ったら・・・ すぐ相談を！！

- 1 まずは、じっくりと話を聴いてください
- 2 あなたを絶対に守るという気持ちを伝えてください
- 3 学校に相談してください

(担任、管理職、養護教諭、スクールカウンセラー等)
学校が相談しにくい場合は、次の機関に相談してください



【相談機関】

- ◇ 笠岡市教育委員会学校教育課 (0865)69-2152
- ◇ 笠岡市教育相談室 (0865)62-3399 ・ 62-5000
- ◇ 岡山県総合教育センター (0866)56-9115
- ◇ 倉敷教育相談室 (086)427-0244
- ◇ 岡山青少年総合相談センター ハートフルおかやま110
 - ・ 「子どもホットライン」 (086)235-8639
 - ・ 「ヤング・テレホン・いじめ110番」 (086)231-3741



